

イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わる事がない

ニューヨーク ニューヨーク州 アメリカ合衆国

1954年08月24日

1 こんにちは、皆さん。

今夜もこうして、この美しく大きな町で再び皆さんにお会いできること、主イエス・キリスト、私たちの救い主の御名によってご挨拶できることは、大きな特権です。

そしてまた今夜、私の兄弟であるバクスター兄弟が語っているその途中から…ああ、まるで昔に戻ったような、懐かしい思いでここに戻ってきました。本当に、帰ってきたような気がします。

私は今夜、見知らぬ人々と共にいるとは思っていません。ここにいるのは、神の御国に属する同じ旅人、同じ天の市民たちです。私たちはこの地では旅人であり、寄留者であると告白しながら、やがて備えられているもっと良い故郷へと向かっていると信じています。

ひとりひとりが、やがて越えていくその大きな境界線——それは、死すべき者と死を超えた者たちとを隔てるものです。

そしてパウロも、(聖書にあるとおりに)こう言いました。「私は、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって、神がキリスト・イエスにあつて上に召してくださるその賞を得るために、目標をみざして進んでいるのです。」

私たちもまた、地上のすべての儂いものを後にして、キリスト・イエスにあるその高き召しの標をみざして、前進しているのです。

2 皆さん、私たちはここにきています。主の御心ならば、この後およそ八夜か十夜ほど、ここに留まってから海外に向かう予定です。

私たちはいつも、この地を“跳び立ちの場所”としています。私と、私の兄弟であるバクスター兄弟がこうして来るのも…これで三度目になると思います。そして私たちはいつでも、ニューヨークに来られることを喜んでいきます。

まあ、ご存知のように、ここは実はインディアナ州ジェファーソンビルの外れなんですよ。ええ、町がこの辺りまで伸びてきているんです(笑)。私の町は、今では人口が二万四千人ほどになりました。十四千人からずいぶん増えましたね。ですから、このまま成長を続けていけば、そのうち地図にもはっきり載るようになるでしょう。

さて、さっき部屋から私をここまで連れてきてくれた方と話していたんですが、「この人口は七百万人くらいだと思います」とおっしゃってました。

それはほとんどカナダ全土の人口と同じくらいですね…カナダのすべての州を合わせた数です。実に多くの人々がこの地に集まっています。

そして、人が多く集まる所には、罪も多くあります。これはどこにでもあることです。ニューヨークだけではなく、インディアナ州の小さな町——ジェファーソンビルのような小さな町にも罪はあるのです。どこにでも、です。

3 この古い世は、もう裁きの時に向けて熟してきています。

この時代に、今のような出来事があちこちで起こっているのを目にすると…ほんとうにそう思われます。いろんな種類の爆弾や兵器が、もう山のようにありますね。

先日、ラジオで聞いたんですが…たしか、この国の全土や海の上に四つほど落とすだけで、地球全体を破壊できるって話でした。大西洋のあたりに二つか三つ落とすだけで——そうしたら、アメリカ合衆国の中に、一匹の甲虫さえも生き残らないって言うんです。すべてが死に絶える。

建物だけが、今と同じように、そのまま立っている状態になるんですよ。

私は言いたいんです。主イエスがこう言われたのも不思議ではない、と——

「もしその日数が選ばれた者たちのために縮められなければ、ひとりの肉なる者も救われはしない」と。

私は、何か近づいていると信じています。

もっとも私は、「今年イエス様が来られる」とか、「来年がその年だ」とか、そういう予言をするような者ではありません。主がいつ来られるか——それは私にも分かりませんし、誰にも分からないのです。

けれど、私たちは主が何を見よと言われたかは知っています。

「これらのしるしが現れるのを見たなら、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているのだから」と、そう仰せられました。そして今、私たちはまさにそのしるしを目にしているのです。

4 そして、私と、私の兄弟であるバクスター兄弟は、できる限りすべての人々のために最善を尽くすということを、これまでずっと自分たちの方針としてやってきました。今、私たちには光が与えられており、その光のうちを歩めるのですから。

私たちは、福音が語られる場所が与えられていることを、心から感謝すべきです。

この世界には、ニューヨークのような大都市がたくさんあります。もちろんここほど大きくはなくとも、主要都市という意味では大きな町が多くあります。でも、そのような場所では、このような集会を開くことすらできない場合がほとんどです。ええ、そうなんです、できないんです。

そして、こうは考えたくありませんが——おそらく、そう遠くないうちに、ここニューヨークでも、もうこうして自由に集会を開けなくなる日が来るかもしれません。

共産主義の思想が、今や世界中に染みわたってきています。

世界の人口の半分以上、いや、もう三分の二近くが、すでに共産主義の影響下にあるのです。

それでは、私たちキリスト者は何をしているのでしょうか？

主が与えてくださったこの限られた時、この「ここからここまで」というわずかな猶予の中で、私たちはまだほんのここまでしか来ていないのです。

イエス様は言われました、「この福音は、全世界に宣べ伝えられなければならない」と。

でも、私たちはそれをどのように捉えているのでしょうか？

たしかに、福音のパンフレットを配る団体があります。それは素晴らしい働きです。私たちもそれを愛しています。そして通りに立って、トラクト(福音冊子)を配っている兄弟姉妹は、主イエスのために尊い働きをしているのです。

また、宣教師たちも、世界中のあらゆる場所に遣わされています。それもまた、神の召しによる素晴らしい働きです。

しかし、私が思うに、主がご自身のメッセージを世界に急速に届ける方法というのは——**聖霊の力と証を伴った現れ**によって、ほんの数日のうちに全世界を照らすような、そんな方法でなされるのではないかと信じています。

主は今、**教会を呼び出しておられます**。

ご自身の民を集めておられるのです。

それは、間もなく起ころうとしている**大いなる出来事**のための備えなのです。

5 私はいつか、福音が異邦人(Gentile)のもとを去り、ユダヤ人のもとへと戻るその時を待ち望んでいます。

先日、西海岸にいる私の親しい友人であり、クリスチャン・ビジネスマンであるアルガンブライト氏が見せてくれた、一枚の映像がありました。

タイトルは『真夜中の三分前』というものでした。

あの映像を見て以来、私は心の中に何かが変わってしまったような気がしています。それほどに衝撃的

で、深い意味をもつ映像でした。

そこには、ユダヤ人に関するすべての預言の答えが映し出されていました。

彼らがどのようにして自分たちの地に帰還し、どのようにして「しるし」がその帰還を示すのか。ダビデの六芒星(六つの角を持つ星)がエルサレムの上に掲げられていたこと。

荒野が開かれて、水が通され、やがてバラの花のように咲き誇ると預言されたとおりに、その地が潤っていく様子。

そしてユダヤ人たちが帰ってきている——ただの映像でした。ただスクリーンに映されたものです。

けれども、キリスト者の皆さん、ここに私たちが真剣に受け止めなければならないことがあります。

船が次々と入ってきていました。飛行機が降り立っていました。

そこには、目の見えない者、足の不自由な者、年老いてよろめく者たちがいました。若い人たちが、そういった人々を背負い、連れて帰ってきていたのです。

インタビューでこう尋ねられていました。

「あなたたちは、祖国で死ぬために帰って来たのですか？」

すると彼らはこう答えました——

「いいえ、私たちはメシヤに会うために帰ってきたのです。」

ああ、聖書をよく読む皆さんなら、これが何を意味しているのか分かるはずです。

神は、世界中から彼らを呼び集めておられます。ただそのとおりに、主が仰せられたとおりに。

そして今、彼らに必要なのは——

私が見えるかぎりと言えば(預言について深く知っているとは言いませんが)、残されているのはただ一つ、ユダヤ人たちの間に霊的覚醒が起こることです。

その時には、異邦人の時代は終わりを告げるのです。

教会は引き上げられ、そして、福音は再びユダヤ人のもとへと行くようになるのです。

6 さて今夜は、ほんの少しだけ、お時間をいただきたいと思います。

これは、いわば導入の夜です。これから私たちは心を備え、バクスター兄弟がメッセージを語ってくださいます。皆さん、きっと祝福されることでしょう。彼はその務めにとってもよく用いられている方です。

私はいつも、最初に少しだけ皆さんの前に立って、集会の雰囲気を感じ取らせていただいて、それから病の方々のために祈るという流れになっています。

それでは今夜は、ほんの短く、聖書を一箇所お読みしたいと思います。

ヨハネによる福音書 第14章12節——

「まことに、まことに、あなたがたに言う。わたしを信じる者は、わたしのしているわざを彼も行なうであろう。それに、これよりもさらに大きなわざを行なうであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」

そして、私たちがこの伝道の働きの中心テーマとしてきた御言葉——

ヘブル人への手紙 第13章8節——

「イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変わることはない。」

この御言葉が、私たちの働きの土台であり続けています。

7 それでは、しばし頭を垂れて、祈りましょう。

優しき天の父よ、

今夜も再びこの大なる町に来て、あなたの助けを必要としている子らに仕えることができる、この恵みを心から感謝いたします。

どうか、愛する天の父よ、

この建物に入ってくる一人ひとりを、聖霊によって油注いでください。

病んでいる者がいれば、どうか癒してください。

あなたから離れてしまった者がいれば、どうか神のもとに立ち返ることができますように。

まだ信じていない者がいれば、どうか信仰を持つ者とならせてください。

主よ、これらのことを、どうかお与えください。

そして大なるしるしと不思議が、この場所で行われますように。

この働きに携わるすべての人を祝福してください。

日々、昼も夜も語るバクスター兄弟を祝福してください。

彼が御言葉を時になんて宣べ伝えることができるよう、聖霊によって油注いでください。

協力してくださっているすべての奉仕者たち、姉妹であるブラウン姉をはじめ、他の皆さんも祝福してください。

照明や音響を守ってくださっている方々、技術者の方々、この働きのために集ってくださっているすべての人々を、どうか祝福してください。

これらをどうかお与えください、父よ。

8 そして願わくは、聖霊のメッセージが、これまで教会に来たことのないような、知らない家庭の中にも届きますように。

その人たちが警告を受けて、教会へと足を運ぶようになりますように。

それは、私たちがここにいるからではなく、あなたの御霊がここにおられ、迷える者、傷ついた者、病める者を救おうとしておられるからです、父よ。

どうか今、この無価値な僕を隠してください、主よ。

何を語るべきか、何をすべきか、どうか私に示してください。

私は今、自分自身をあなたにゆだねます。

あなたの栄光のために、この役に立たぬ僕をお用いください。

これらすべてを、あなたの御子、私たちの救い主、主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

アーメン。

9 それでは、ほんのしばらくの間だけお話をしてから、病の方々のためにお祈りを始めたいと思います。

毎晩それほど長くはお引き留めしません。というのも、この集会は少し長めのキャンペーンになりますから。

私たちはちょうど、シカゴから戻ってきたところです。そこでは、これまでで最大のキャンペーンを行ってきました。

それから、西海岸へと移動し、クリスチャン・ビジネスマンたちと共に、素晴らしいキャンペーンを持ちま

した。

バクスター兄弟も、コンベンションなどでずっと説教をしておられ、私たち二人とも、正直なところ、かなり疲れています。

実を言いますと、この集会の直前、メッセージの準備をしようとしていたのですが……そのまま、ぐっすり眠ってしまっていたんです。

これは、私にとってはとても珍しいことなんですよ。

それでも急いで集会に向かって来ましたが、二人とも本当に疲れています。

けれども、今夜この時間を通して、私が語りたいお方は、たったお一人です。

それは、私たち皆が心から愛しているお方——主イエス・キリストです。

私には、イエス様以外に語るべき方はいません。

愛においても、憐れみにおいても、他にこれほど尊い御名を私は知りません。

それは、神の御子、主イエス・キリストです。

10 さて今夜、私はこの会衆の皆さんに一つお願いしたいことがあります。そしてこれから始まる二週間のキャンペーンを前にして……

【※テープの一部が欠落】

私たちは、ここでイエス様が仰せになったことに、しっかりと目を向けるべきです。

さまざまな働き方や神学の立場の中で、多くの人々がそれぞれの方法で教えようとしています。それには、それぞれに素晴らしいところがあります。

どんな教会であっても、主イエス・キリストのことを教えているなら——アーメン、それは本当に喜ばしいことです。私はそういった働きを尊重します。

ですから、主イエス・キリストの御名を掲げているすべての教会に対して、敬意を払いましょう。

もちろん、私たちは時に、教えの違いや立場の違いがあるかもしれません。それは教会同士でも、また人と人の間でも、自然に起こることです。

けれども、私たち——バクスター兄弟も私も——どこの教団や組織にも属していません。

私たちは完全に超教派的(インターデノミネーション)な立場に立っています。

そして、イエス・キリストにある兄弟愛を信じています。

11 さてここで少し、私とバクスター兄弟がこの八年間、何を目指してきたのかをお話したいと思います。

多くの方が、「ブラーナム兄弟、あなたの集会は神の癒し(ディバイン・ヒーリング)だけが中心ですね」と言われます。

でもね、兄弟、それは少し違うんです。

たしかに神の癒しも大切な働きですが、それだけではありません。

私たちが本当に願っているのは、イエス・キリストの御からだ全体の癒しなのです。

つまり、教派の違いを越えて、すべての教会が兄弟姉妹として一つになれるように、そのために働いているのです。

それぞれが何を信じていようと、それは良いのです。

でも私たちは、互いに愛し合い、キリストにある兄弟姉妹として手を取り合おう、そう願ってこの働きをし

ているのです。

それが、私たちの心からの願いです。

主が私に与えてくださった小さな影響力を、そのために用いようとしていますし、バクスター兄弟も同じように、御言葉の教師として、その影響力を用いています。私は病の方のために祈り、彼は御言葉を教える——そういう形で共に働いているのです。

そして、私たちはこう信じています。新しく生まれたすべての人は兄弟である、と。

そう、それが私たちの立っている立場です。

それから、私たちの神学的な立場は、もしかしたら一般的な「癒しの集会」とは少し違っているかもしれませんが。

今、兄弟と私は祈りながら話し合っているところなのですが、海外から戻ったあと、新しいタイプの集会を始めようかと考えているところです。

実を言いますと、私は「神の癒し」について教えているいくつかの雑誌にも記事を出したのですが——私の集会には、どうしても人が多すぎて手が回らないのです。

そしてまた、長く滞在することができない。

人々がどんどん集まり始めて、ようやく盛り上がってきた頃に、四晩か五晩ほどで、私はもう限界に達してしまうんです。

それは、私の働きが幻によるものだからです。

12 次に戻ってくるときには、今まであったいろいろな制限をなるべく取り除いて、**ただ福音を宣べ伝え、病の人のために祈る**ということに集中したいと願っています。

そして、どのように導かれるかは、すべて**聖霊の導きに委ねて**、そのとおりに動いていくつもりです。

ですが、幻(ヴィジョン)というものは、いつも私たちの働きを制限してきたんです。

そのために、集会を長く続けられないという状況が常にありました。

けれども今回は——主が御心ならば——四週間、五週間、六週間、あるいは七週間、もしかしたら二ヶ月でも、一つの場所にとどまりたいと願っています。

そして、「ここでの働きは終わった。次へ行きなさい」と主が**言われるまで**、その地にとどまるつもりです。

どうか、そのために私たちのために祈ってください。

そして今、私たちの思いを集中させるべきお方——**愛する主イエス様**のことに心を向けましょう。

決して、あなたの思いをイエス様からそらしてはなりません。

どんなことがあろうと、何が起ころうとも、あなたの心を主にとどめていてください。

13 さて今夜、ここにおられる方の中で、本当に主イエス様を見たいと思っておられる方は、どれほどおられるでしょうか？

「見たいです」と思われる方、手を挙げてみてください。——ええ、私も兄弟姉妹と一緒に手を挙げます。

それこそが、私の心からの願いなんです。

主イエス・キリストにお会いしたい。

ああ、どれほど私はイエス様を愛しているでしょう。

心のすべてを尽くして、私はイエス様を愛しています。

もし私の心に少しでも正直さがあるならば、私は本当に、主を愛していると申し上げたい。

私は主の御名を語るとき、まるで自分にはその御名を口にする資格すらないように思ってしまうのです。

だって、その御名がもたらしてきたことを思うと……ただ圧倒されるのです。

皆さん、あの御名が初めて人間の口から語られたときに何が起こったか、ご存じですか？

そのとき、お母さんの胎内で死んでいた赤ん坊が、命を受け、聖霊を受けたのです！

マリヤがエリサベツに挨拶をしたその瞬間、彼女はこう言ったのです：

「あなたは男の子を産むでしょう。その名をイエスと呼びなさい。」

その御名が語られたとたん、小さなヨハネが胎内で喜び踊ったのです。

——ねえ、皆さん、これで分かりますよね？

あの御名が、どれほどの力を持っているのかということが。

14 もし今夜、イエス様がここニューヨークにおられたら——皆さん、どこでイエス様を見つけられると思いますか？

少し皆さんに質問させてください。

もしイエス様が、この地上に肉体を持っておられた初めの時のように、御自身を現されながらこの街に来られたとしたら……

ニューヨーク全体はイエス様を受け入れると思いますか？

……いいえ、絶対にそんなことはありません。

いや、それどころか、あの初めて来られた時よりも、もっとひどい扱いをされると思います。

そうです。なぜなら、人々にはそれが理解できないからです。

あまりにも私たちの神学と違っているので、きっと多くの人は戸惑ってしまうでしょう。

そして、あの時代と同じように、ほんのわずかしが彼に従う人はいないと思います。

イエス様は、あまりにも違っておられた。

その語り口も、働き方も、教えも、すべてが人の思いとは違っていた。

だからこそ、人々は理解できなかったのです。

彼らは言いました……いや、最終的にはこう言ったんです：

「これは神の働きではない。あれはベルゼブル——悪霊のかしらだ」と。

……想像できますか？

あの主イエス・キリストに、そんな名をつけるなんて。

でも、それが事実として起こったのです。

そして主はこう仰せられました：

「家の主人をベルゼブルと呼んだのであれば、その弟子たちのことはどれほどに呼ばれるだろうか？」

ですから私たちクリスチャンは、どんな名前と呼ばれたとしても、驚くことはありませんよね？

でも覚えていてください。

もし私たちが新しく生まれた者であるならば、イエス・キリストは私たちを知っていてくださるのです。

15 さて、主イエスが地上でなされたご奉仕について……。

まず最初に、今夜お読みした御言葉、ヨハネによる福音書 第14章12節に注目してみましょう。

イエス様はこう仰せられました：

「まことに、まことに(アーメン、アーメン——これは“絶対に、確かに”という意味です)、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、わたしがしているわざを彼も行うでしょう。そして、これよりも多くのことを行うでしょう。わたしが父のもとへ行くからです。」

ここで「greater(より大きな)」と訳されている言葉ですが、実際の意味としては「より多くのこと(more)」が正しいのです。

なぜならイエス様は死人を甦らせ、自然さえも制しました。それ以上に偉大なことなど、人間にはできません。

けれども、イエス様は「わたしが父のもとへ行くから、あなたがたはこれよりも多くのことをする」と仰せられたのです。

さて皆さん、これが神の靈感を受けた御言葉であると信じますか？

この御言葉が時代を越えて有効であると信じますか？

……私は信じます。

イエス様がなされた同じわざを、教会もまた行う、と約束されたのです。

それだけでなく、「それ以上に多くのことを行う」と。

では、それではイエス様はどのようなことをなされたのか？

——それを今、一緒に見ていきましょう。

16 もし私たちが、イエス様が地上でなされたご奉仕の型(かた)を見いだすことができ、

そしてこの会場で、これからの十夜の間、

主ご自身が再び、御自身のご生涯をそのまま、私たちのただ中に現してくださるとしたら——

皆さん、主を信じてくださいますか？

それを私に約束してくださいますか？

ここにおられるこの小さな群れ、今夜集まっておられる数百人の皆さん——

あなたは心を尽くして、主イエスを信じると約束してくださいますか？

もしも、主がこの会場で、ご自身を再び現してくださるならば——

あなた自身の目を見て、あなた自身の心で納得できるように、はっきりと御姿を現してくださるなら——

そのとき、あなたは信じますか？

……では今、私たちは見ていきましょう。

イエス様がどのような働きをなされたのかを。

17 「私たちはイエス様を見たい」——

そう願う者たちがいます。今の時代、多くの人はこう考えるかもしれません。

「もし誰かが、イエス様のような御業を行えるとしたら、その人はきっと高ぶって、自信満々に出てきて、派手に自分を見せようとするだろう」と。

でも、イエス様はそのようなお方ではありませんでした。

イエス様は、何ひとつ誇らず、

ご自分がなされたことについても、一切その功績を自分に帰されませんでした。

すべてを、神に栄光としてお返しになったのです。

これは正しいでしょうか？

イエス様はこう仰せられました：

「わたしがしているのではない。わたしのうちにおられる父が、そのわざをなさっておられるのだ。」

そうですね？

では今夜、私たちも、かつてギリシャ人たちが持ったのと同じ思いで主を見ようとしましょう。

彼らはこう願いました——「イエス様を見たい」。

私たちが今、そのような心で、主を見つめてみましょう。

主がご奉仕を始められたとき、

馬小屋でお生まれになりました。

この世的な視点から見れば、とても貧しく、地位もなく、庶民の出身であり、

おそらく教育も、当時の世界の基準では極めて乏しいものだったと思われます。

それが、聖書学者たちを混乱させる原因にもなっているのです。

彼らはギリシャ語やヘブル語を深く研究し、そこに使われている語句を、高度な神学的意味に当てはめようとする。

でも実際、イエス様が語られた言葉というのは、

町の通りで人々が日常に使っていたような、平易な言葉だったのです。

だから、学問的に翻訳しようとする、かえって本来の意味が見えなくなってしまうのです。

つまり、この世的に見れば、イエス様は「学者」でもなければ、「雄弁な説教師」でもありませんでした。

もちろん、イエス様は神ご自身なのです。

でも、ご自分を何か偉大な弁舌家のように見せようとしたことは、一度もありませんでした。

18 では、イエス様がどのようなご奉仕をなされたのか、その型を見てみましょう。

祈りの列に入る前に、しばらくの間、イエス様のご奉仕の流れをたどってみて、主ご自身が今もご奉仕を続けてくださるようにと願いましょう。

イエス様をご自身の働きを始められたとき、

私たちは、神がどれほど病の人々のための祈りに応えられたかに注目します。

イエス様は、最初からすぐに病の人々のために祈ることから始められたのです。

そうですね？

そして、しるしと不思議が、すぐに主に伴い始めました。

人々の目から見ると、少し不思議に思えるようなことを、イエス様は次々に行われました。

やがて大勢の群衆が主のもとに集まってきました。

けれど、その時代の神学と主が食い違いとわかった途端、

人々は主を拒み始めたのです。

さて、イエス様のご奉仕の初めの頃、ピリポという名の方が救われました。

そして彼は、すぐに自分の親友を探しに出かけたのです。

——それこそが、本当に救われた証拠ではないでしょうか？

自分が見つけた喜びを、誰かに伝えずにはいられないんです。

ピリポは、友人を探して歩き回り、やがて見つけました。

一本の木の下で祈っていた彼の名はナタナエル。

ピリポはこう言いました：

「来てごらん！ 私が出会ったお方、ナザレのイエス、ヨセフの子だ！」

すると、この敬虔な信仰者であったナタナエルはこう返します：

「ナザレから良いものが出るだろうか？」

——ナザレは当時、非常に墮落した町と見なされていたのです。

でも、ピリポはただ一言こう言いました：

「来て、見てごらんなさい。」

……これは、何かを本当に確かめたいときに、一番正しい態度ではないでしょうか？

そう思いませんか？

私はこう思います——

もしニューヨークにもっと多くのナタナエルのような人々がいたら、この街ももっと良くなると思いませんか？

「来て、見てごらんなさい。」

自分で確かめてみなさい。自分の目で、御言葉に照らして、見極めてごらんなさい。

「来て、見てごらんなさい。」

19 さて、ナタナエルが列に近づいて来たときのことで……。――

イエス様がちょうど病の方々のために祈っておられたのか、会衆の中に立っておられたのか——そのあたりの詳細は分かりませんが、

とにかくイエス様は、ナタナエルをご覧になったのです。

そして主はこう言われました：

「見よ、まことのイスラエル人だ。その心に偽りが無い。」

ナタナエルは、誠実で、まっすぐな信仰者でした。

その言葉に、ナタナエルは驚きました。

そしてこう尋ねました：

「先生、あなたはどのように私をご存知なのですか？」

——“ラビ”とか“牧師先生”とか、呼び方はいろいろあるでしょうが——

「どうして私のことを？」

するとイエス様はこうお答えになりました：

「ピリポがあなたを呼びに行く前から、あなたが木の下にいるのを、わたしは見ていた。」

おお、これはナタナエルにとってただ事ではありませんでした。

彼はたまらず主のもとへ駆け寄り、こう告白したのです：

「あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です！」

20 皆さん、もし今このニューヨークで、同じようなことが起こったら、どうなると思いますか？

きっと、こう言う人が出てくるでしょう——

「はは、あれはね……あの男は占い師だよ。あれはメンタル・テレパシー(超心理術)だよ、あれは。」

たとえば「ジョーンズ博士」とでも呼ばれる人が、そんなふうにするかもしれません。

でもね、ジョーンズ博士の“霊”は、あの時代にも生きていたんです。

知っていましたか？

あの当時のパリサイ人たち——学問に長けた教師たち——も、同じようなことを言っていたんです。

「彼はベルゼブルだ」と。

つまり、占いのかしら、悪霊どもの親玉だと。

もちろん、占いは悪霊の働きです。ご存じですよ。

だから彼らは、「あれは占いのかしらだ」と言ったのです。

「悪霊どものかしらだ」と——。

さて、もう一度イエス様を見てみましょう。

ある日、イエス様はエリコへ向かっておられました。

けれど、まっすぐエリコに行かずに、サマリヤの道へと上って行かれたのです。

不思議ですね？

なぜわざわざエリコへ行くのをやめて、サマリヤを通過して行かれたのか？

けれど、主は**「サマリヤを通らねばならない」と仰せられた。**

さて、少し待っていてください。その理由がすぐに分かります。

イエス様がそこへ着かれると、弟子たちを町へパンを買いに行かせました。

そして弟子たちが町に出かけている間に、一人の女性が井戸にやって来たのです。

私たちアメリカの理解では、その女性は**娼婦のような人だった**とされています。

(東洋の教えでは少し違う見方をしますが、今夜は西洋の視点に合わせてお話を進めましょう。)

21 さて、その女性が井戸にやってきました。

—もしかしたら、彼女はお昼近くまで寝ていたのかもしれませんが。

あるいは、他の女性たちと一緒に来ることができなかったのかもしれませんが。

とにかく、彼女が井戸に来たのは、午前11時か12時ごろ。

弟子たちが食べ物を買に行っていて、他の人たちはいない時間でした。

イエス様は、どこかの石垣の上あたりに腰を下ろしておられました。

そして、その女性が水を汲もうと、つるべ(壺)を井戸に下ろすのを見て、

イエス様はこう言われたのです：

「わたしに水を飲ませてください。」

女性はふと顔を上げて見ると、そこにいたのはユダヤ人の男性でした。

彼女自身はサマリヤ人です。

—当時の状況は、ちょうど今のアメリカ南部の白人と黒人の関係のように、

ユダヤ人とサマリヤ人との間には激しい人種的な隔たりがあったのです。

彼女は言いました：

「あなた方ユダヤ人が、サマリヤ人にそんなふうにかけるなんて、あり得ないことです。」

—つまり、こんなふうに問いかけているのです：

「どこにそんな“親切”や“思いやり”があるって言うの？」

あなたはユダヤ人で、私はサマリヤ人。私たちは交わってはならない者どうでしょう？

どうしてあなたが、私に水をくれと頼むのですか？」

するとイエス様はこうお答えになりました：

「もし、あなたが今、誰と話しているのかを知っていたなら、

あなたの方から、わたしに水を求めていたことでしょう。」

彼女は驚いて言いました：

「どうしてあなたが私に水をくださるのですか？」

—つまりこう言っているのです：

「この井戸は深いし、あなたは汲むための器も持っておられない。

なのに、どうやって水をくださるというのですか？」

こうして、二人の会話はだんだんと深く続いていったのです。

22 さて、私にはイエス様がその時何をなさっていたか、自分なりの見方があります。

—主は、あの女性の霊を見極めようとしておられたんです。

そして、ついにその霊をとらえられた時、主はこう言われました：

「あなたの夫を呼んできなさい。」

すると彼女は答えました：

「私には夫はおりません。」

イエス様は言われました：

「そのとおりです。あなたにはこれまで五人の夫がいましたが、今一緒にいる人は、あなたの夫ではありません。」

……さて、これが今のニューヨークで起こったらどうなるでしょうか？

きっとこう言われるでしょう——

「見てごらん、あの男はちょっと洗練された占い師だよ。あれは“靈感商法”みたいなもんさ。」

——でも、それは当時も同じだったんです。

彼らは言いました：

「彼はベルゼブルだ！」

けれども、注目すべきはこの女性がどう受け取ったかです。

彼女がどんな過去を持っていたにせよ、彼女はこう言いました：

「先生、私はあなたが預言者であると感じます。」

そして、こう続けました：

「私は知っています——メシヤが来られると、

(——※それこそ今夜、私たちが語っているあのお方です——)

その方はこのようなことをしてくださると、私は信じています。」

「メシヤが来られるなら、きっと私たちにこうしたことを語ってくださるはずですよ。」

でも、私はあなたが預言者だと分かります。」

彼女はそれから町に走って行き、人々にこう言ったのです：

「来て御覧ください！ 私がしたことすべてを言い当てた人がいるの。」

このお方こそ、キリストではないでしょうか？」

23 もちろん、イエス様はあの女性に彼女の人生のすべてを語られたわけではありません。

でも、ひとつのことを言われただけで、

そしてもし主が望まれ、父なる神が示しておられたならば、もっと多くのことを語ることもできたはずですよ。

それが、イエス様というお方なのです。

あるとき、イエス様は魚の口の中に銀貨があるのをご存知でした。

またあるときは、二つの道の分かれ目に、ロバがつながれている場所をご存知でした。

そして、最後の晩餐のための二階座敷が、どこに備えられているかも、弟子たちにあらかじめ告げておられました。

これが、今からおよそ1900年前のイエス様のお姿でした。

——そうですね？

それでは皆さん、ヘブル人への手紙13章8節が靈感を受けた神のことばだと信じますか？

神のことばとして、信じておられますか？

そこには、こう書かれています：

「イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変わることはない。」

これを信じますか？

——ええ、もちろんです。

それが真理です。

24 さて、よく注意して見てください。

もしイエス様が「きのうも、きょうも、いつまでも変わらない」お方であるなら……やがてイエス様は、人類の罪のために死なねなければなりませんでした。

でもその前に、ほんの少しだけ、もう一箇所、御言葉を見ていただきたいのです。

——少しだけお時間を取らせませんが、疲れすぎていなければ聞いてくださいね。

ある池がありました。

【※ここで録音が一部切れていますが、おそらく「ベテスダの池」のことです】

そこに、一人の男が寝床(パレット)に横たわっていたのです。

イエス様は彼に言われました：

「あなたは良くなりたいたいか？」

でもそこには、盲人も、足の萎えた人も、歩けない人も、たくさんいたんです。

なのに、イエス様は彼らには一言もかけられませんでした。

子どもたちもいたかもしれません。

でも、イエス様は彼らにも何も仰らなかった。

ただ、寝床に横たわっていたこの一人の男のところへ行かれたのです。

そして御言葉にこうあります：

イエスは、その人が長い間その状態にあるのをご存じであった。

この男は38年間も病を患っていたんです。

たぶん、肺病のようなものか……それほど致命的な病ではなかったのでしょうか。

死に至るものではなかったけれど、彼は動くことが難しかった。

本人はこう言いました：

「私が水に入ろうとすると、他の人が先に降りて行くのです。」

つまり、彼は盲人でもなく、足が不自由なわけでもない。

でも、何らかの体の不調(病弱、あるいは障害)を抱えていた。

それを38年も患っていたのです。

けれどイエス様は、彼がそこにいることをご存じだった。

——ここをよく見ていてください。

イエス様は、その男がそこにいるのを知っておられた。

だからこそ、他のすべての人々を通り過ぎて、その男のもとへと行かれたのです。

そして主はこう言われました：

「あなたの床を取り上げて、家に帰りなさい。」

その後、イエス様は何をされたでしょう？

そのまま、そこにいた大勢の人々の中を去って行かれたのです。

25 では、あのときベテスダで働かれたのは、1900年前のイエス様だったのでしょうか？

——ええ、それは今も変わらないイエス様です。

それが本当のイエス様です。

でも、エルサレムの批判者たちはどう言ったのでしょうか？

「ほら、またあの“癒し屋”が来てるぞ。

私は見たよ、あの人が叫んでる人たち、泣いている人たちの横を素通りして行ったのを。

もし彼に神性があるって言うなら、あの場の全員を癒したはずだ！」

——確かに、そう見えるかもしれませんが。

でも、ここにとても重要なことがあります。

この地上にいるすべての人間は、

自分自身の力では何もできない、ということです。

イエス様ご自身についても、こう語られています：

弟子たちが、安息日に床を担いでいた男を見つけ、問いただしたとき、

イエス様はヨハネ5章19節でこう言われました：

「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は、父がなさることを見なければ、自分からは何もすることができません。」

——これは正しい御言葉ですよ？

「父がなさることを、子にも示してくださる。」*

つまり、イエス様はこうおっしゃっているのです。

今の私たちの言葉で言うなら、こうです：

「わたしは、神から示された幻(ビジョン)を見て、その通りに行っているのです。

わたしは、神がわたしに示されたことを“演じて”いるのです。」

それが、現代の私たちにも分かりやすく説明された、御言葉の意味です。

イエス様はこう言われたのです：

「まことに、まことに言う。わたしは自分からは何もできない。

父が示された幻を見て、その通りにするだけである。」

——だからこそ、イエス様はベテスダの池を通過して、あの一人の男を見つけたのです。

父が彼がそこにいることを示しておられたからです。

ラザロの復活を見てごらん下さい。

他のすべての癒しの出来事も、同じです。

主は御心を示され、それに従って動かされたのです。

26 イエス様は、ある種の力に満たされておられました。

ある時、一人の女性が、イエス様の衣のすそにそっと触れました。

——彼女は、強い信仰を持っていたのです。

イエス様ご自身は、その時物理的には何も感じていなかったと思われます。

というのも、弟子たちはこう言っていました：

「先生、皆があなたに触れようとしています。人々が押し寄せ、腕を伸ばし、群がっています。」

——それほど、群衆が主に群がっていたのです。

けれども、その女性は静かに触れて、そっと群衆の中へ戻っていきました。

彼女はもうそれだけで十分だったのです。

——ただ、主の衣に触れること。それが彼女の願いのすべてでした。

するとイエス様は、群衆を見渡しながら言われました：

「あなたの信仰が、あなたを救った。」

——その言葉が、群衆のただ中にいたその女性に向けて語られたのです。

それと同時に、彼女は自分の体に変化が起こったのを感じました。

長年患っていた血の病が止まったと。

またある時のこと——エリコの近くの道を、イエス様が通っておられました。

私は聞いた話ですが、その道は町から少し離れていたそうです。

そこに、一人の盲目の乞食が座っていました。

彼は、群衆の騒がしさの中で、イエス様の姿を目で見ること、声をはっきり聞くこともできなかったでしょう。

けれど彼は、叫んだのです——**「ダビデの子よ、私をあわれんでください！」**

……その叫びが、主イエスの足を止めさせたのです。

主はその時、十字架に向かう途中でした。

群衆は騒ぎ立て、ある者は主をあざけり、ある者は歓声を上げていました。

けれど、一人の乞食の信仰が、主の足を止めたのです。

今夜この会場にいる、どんなに弱く、貧しく、小さな存在のように思える人の信仰であっても、

その信仰は主イエス・キリストを、今この場に引き寄せることができるのです。

——そうです。

それは本当です。

イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変わることがないお方なのです。

27 イエス様はこう仰せられました：

「わたしのするわざを、信じる者もまた行うようになる。しかも、それよりも多くのことを行うようになる。わたしが父のもとに行くからである。」

そしてまた、こうも言われました：

「しばらくすれば、この世はもはやわたしを見なくなる。だが、あなたがたはわたしを見る。

なぜなら、わたしはあなたがたと共におり、あなたがたのうちにいるからである。」

——これは聖書ですよ？

はい、まさに御言葉です。

これが聖書のことばだと信じる方、どれほどおられますか？

……ありがとうございます。

ですから、もしイエス様が本当に死人の中からよみがえられたのであれば、

そしてそのイエス様が「わたしのしたわざを、信じる者も行うようになる」と仰せられたのであれば——

それはただ一世代や一つの時代だけの約束ではなく、

この世の終わりまで続く約束だということになります。

「わたしはあなたがたと共にいる。いや、あなたがたのうちにいる。

世の終わりまで。」

「イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変わることがない。」

これは正しいですね？

——完全に正しいです。

けれども、その時代でさえ、イエス様があれほどのわざをなされたのに、

人々はなお疑いました。

どれほどの奇跡を見せられても、

彼らは主を十字架につけたのです。

——でもそれも、神のご計画だったのです。

神は、そうなることをご存じだった。

今日もまさに同じです。

たとえ、それが目の前で起こったとしても、

何千人、何百万という人が、それを拒むでしょう。

なぜなら、御言葉にすでにそう記されているからです。

「門は狭く、その道も細い。それを見いだす者はわずかである。」

そうですね？

……でも、それでも——

イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変わらないお方です。

さて、もし主が本当に死人の中からよみがえられたのであれば、

最初にされたことは何でしょうか？

——これで最後にします。

イエス様が復活されたその日、エマオへ向かう道で、二人の弟子と共に歩かれたのを覚えておられますか？

イエス様は、その弟子たちと一日中ともに歩き、話しておられました。

彼らはこう言いました：

「あの方の教えは、これまでにない新しい光で御言葉を開いてくださった。

道々、あの方が語られるのを聞いていたとき、

私たちの心は燃えていたではないか？」

やがて彼らがエマオの村に着くと、イエス様はなお旅を続けるふうをされました。

ただの「一人の男」として、何気なく振る舞われたのです。

でも、彼らはイエス様を引きとめました。

「どうか、私たちと一緒に泊まりください。」

そして、イエス様が彼らの家に入り、ともに食卓についたその時——

イエス様はご自身を、彼らに現されたのです。

……お分かりになりますか？

イエス様が“家の中に入られた”ときに、初めて彼らは主が誰であるかを知ったのです。

28 さて、もしあなたがただイエスを許すなら...あなたのすべての教義と物事を降りて、聖書がイエスであると言っていることを取り、彼を許してください...今夜あなたと一緒に彼をあなたの家に閉じ込めてください。彼はあなたに彼自身を知らせます。

彼はどのようにそれをしましたか？ 何とは少し違う……彼が何かをしたのと同じように、彼らはそれがイエスでなければならぬと認識していました。そうですか？ 私の祈りは今夜、彼が今夜ここに来て、今週は毎晩、そして来週私たちが滞在し、私たちと一緒にいるのは主イエス・キリストであることがわかるように毎晩少し違うことをすることです。私たちが祈っている間、彼の祝福があなたにありますように。私の祈りです。

さて、父よ、私たちは今夜あなたに尋ねます、私たちはここに座っているので、熱い建物、私たちはあなたを待っています。私たちはエルサレムで、突然、強烈な強風として天からの音が聞こえるまで、上の部屋で10日間待っている数百二十人と考えています。それは彼らが座っていたすべての家を満たしました。裂けた舌が火のように彼らの上に置かれました。

さて、父よ、私たちは今夜、私たちがこの集会に入るとき、戦いに行く前にダビデがしたように、神の御霊が私たちの前に進むにつれて、葉のざわめきが聞こえることを祈ります。今夜私たちに素晴らしい会議をしてください。聖霊が大いなる力で降りてきますように。今夜、彼が病人と貧しい人を癒してくださいますように。神の栄光のために大きなしるしと不思議がなされますように。私たちはこれをイエスの御名によって、あなたの愛する息子に尋ねます。アーメン。

29 大丈夫です。さて、私たちはプレイヤーラインと呼びます。そして、見てみましょう...あなたは...? どんなカードをあげましたか？ 1から...? 取りましょう....ここにはあまり余裕がないと思います。バクスター兄弟、私たちはどこに彼らを連れてきますか、こちら側に戻ってください？ このように戻った？ 大丈夫です。1から10を取り、ここでどのように並んでいるかを見てみましょう。プレイヤーカード番号1を持っているのは誰ですか？ 見てみましょう、あなたの手を上げてください、プレイヤーカード番号1を持っている人は誰でもあなたの

手を上げてくれませんか....わかりました、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10。

さて、彼らが始めたかどうか見てみましょう。あなたは先導し、彼らが通り抜けるときにそれらを数えます。行方不明の人がいるところは、私たちが手に入れることができます。大丈夫です。1、2、3 ...よろしければ、こちら側に並んでください。1、2、3、4、5、6、7、8、9、10 ... 1、2、3、4、5、6、大丈夫、約3つが欠けています。7、8、9、10。ここに、ここに、10。大丈夫です。たまに見ないと、起き上がれない人もいれば、耳が聞こえなくて聞こえない人もいるので.....大丈夫です。[バクスター兄弟がブラナム兄弟に話しかけます。]はい。バクスター兄弟、それでいいでしょう。それは問題ありません。

30 通常、こちら側から来てもらいます。それは迷信ではありませんが、私が主の天使を見たことがあるたびに、主はいつもこちら側から、こちら側から現れます(参照)。大丈夫、それは10です。さて、15、15、誰が祈りのカード15を持っていますか...それとも、つまり、祈りのカード11を持っていますか？ 11、12、13、14、15を見てみましょう。5人が立ち上がるようにします。できるかどうか見てみましょう...誰かが満員になる必要がある場合....わかりました、3つあります。大丈夫です。[テープ上の空白のスポット。]

私はあなたに何かを尋ねるつもりです。私は最初に私の会議で裁定を下しました、そして私たちは引越そうとしています。私が今夜彼らに福音の真実を話したと信じている人はここに何人いますか？ プレイヤーラインでもあなたの手を見てみましょう。どこでも心から信じますか？ あなたはそれが真実であるとバルコニーで信じていますか？ あなたは今私と一緒に祈るために集会で私を助けるつもりですか？ これが私たちの最後のキャンペーンかもしれません。わかりません。何なのかわかりません。しかし、私たちはあなたを助けるためにできる限りのことを試みるつもりです。

31 そして、私はあなたに言います。わがままな動機のためにここにあるわけではありません、友達。それはあなたを助け、罪人が最初にイエスを受け入れ、次にバックスライダーがキリストに戻るのを助けるためにここにいます。第三に、私たちはあなたに元気になって欲しいです。そうです。しかし、最初のものが最初でなければなりません。大丈夫です。

ビリーポール、これは患者ですか？ わかりました。さて、一人一人が敬虔になり、私と一緒に祈りましょう。私がおの人のために祈り始めるとき、あなたは私と一緒に祈ります。

大丈夫、姉妹。あなたは今、主イエスが心を尽くしてあなたを元気にしてくれると信じていますか？ 私が彼に尋ねることは何でも彼がそれをするだろうとあなたは信じますか？ あなたはそうします。私の会議に行ったことはありますか？ あなたは行ったことがあります....はい。あなたは彼がどのように物事を語り、人々について物事を知っているかが分かります。分かりますか？ もし私があなたに一言も言わずにただあなたのために祈ったなら、あなたはとにかく元気になると信じていますね？ あなたはそれを信じています。私はあなたもそうするだろうと信じています、姉妹。ちょっと頭を下げましょう。

親切な天の父よ、私はあなたにこの愛する女性に憐れみ深いことをお願いします、そして彼女が今夜あなたの力の神によって癒されますように。そして、あなたの憐れみが彼女にあり、彼女を元気にしてくださいように。主イエス・キリストの名において、私はこれをお願いします。アーメン。さて、あなたは背中トラブルがあなたを去ったと思いますか？ 大丈夫です。ありますね。大丈夫です。

32 さあ、レディ。あなたは心から信じますか？ 「コース、私はあなたがあなたの首にギターを持っているのを見ます。それは見られることです。「もちろん、あなたは主イエス・キリストがここにいると信じていますか、もし私が...ならあなたを元気にするでしょう？ もし彼が望むなら、彼があなたの人生について私に話することができるかとあなたは信じますか？ 彼はできた。彼は必ずしもそうする必要はないのでしょうか？ いいえ、いいえ、する必要はありません。しかし、あなたは私があなたのために祈りを求めるだけであなたが元気になると信じています。戻ってきて、集会で証言しますか？ 今夜家に帰って、食べてその胃のトラブルを乗り越えることができれば、あなたもそれについて気分がいいと思いますか？ あなたはそうではありませんか？ 今、あなたはそれを行うことができます。あなたは今食べに行きます。

主イエス様、私はあなたがこの女性を祝福し、彼女が行って元気になるように祈ります。あなたの栄光のために、私はイエス・キリストの名において彼女に手を置きます。アーメン。さあ、食べに行き戻ってきて教えてください。教えてください、そしてあなたのギターが去るのを見てください。大丈夫です。

33 姉妹、心から信じますか？ あなたは主があなたを元気にしてくれると信じていますか？ もし神があなたを元気にしてくれたなら、あなたはここに戻って神の栄光を証言してくれませんか？ 神はあなたを祝福します。来てください。さて、天の父よ、あなたの憐れみと祝福をその女性に休ませてください。そして彼女が今

夜ここから行くとき、私がイエス・キリストの名によって彼女に手を置くように、彼女が喜び、幸せになり、元気になりますように。アーメン。さあ、喜んで行きましょう、それだけです。彼女は町の外から来ました。彼女は癒されました。大丈夫です。

さあ、レディ。あなたが来るとき、あなたは心から信じますか？ あなたは神があなたを元気にするためにここにいて信じますか？ 私たちが彼に尋ねればあなたは信じます...あなたのために祈っている人々を見てください。ああ、およそ千人があなたのために祈っていると思います。あなたは今ここで聖霊の力の下で彼があなたを元気にしてくれると信じていますか？ 今、聴衆の何人がこれを心から信じていますか？ 私はあなたに戻って証言するようにお願いしています。

主イエス様、私とその女性に手を置くとき、イエス・キリストの名において、彼女が完全に完全になるようにお願いします。主よ、それを認めてください。アーメン。神はあなたを祝福します。さあ、喜んで行き、幸せになりましょう。

姉妹、あなたも元気になると信じますか？ 「あなたの病気は恐ろしいものではありません。それはあなたを殺すものではありませんが、それはあなたがいつも気分が悪くなるのに十分です：あなたの背中が硬くて起き上がれません。しかし、あなたは神があなたをこれから良くしてくれると信じますか？

主イエス様、私はあなたがその女性を癒して下さることを祈ります。そして彼女が今夜ここを去るとき、彼女がイエス・キリストの名によって元気になり、幸せで喜んで行くことができますように。アーメン。神はあなたを祝福します、レディ。さあ、喜んで幸せに行きましょう。

34 さて、友達は、「まあ、何も起こらない」と言うかもしれません。ここにはまだ何も起こっていないのを見ることが出来ますね。表示されないものでない限り、超自然的に見ることができるものはまだプラットフォームに来ていません。しかし、人々は癒されています。その通りです。ここで、例えば、ここで、彼らが知ることができるように。

ここに来てください。姉妹、心から信じますか？ 心から？ もし私があなたに一つも言わなかったら、とにかくそれを信じるでしょうね。あなたは私が...大丈夫なら信じるでしょう。

ここに来てください。手を貸してください。私の手を見てほしいのです、ほら。さて、私の手がどのように見えるか見てみましょう。さて、見てみましょう。私の手を置いてほしい。さて、私の手の違いを見てください。そこに腫れがあり、小さなこぶがその上を走っているのがわかりますか？

さて、あなたの問題は何ですか、あなたは胃の問題を抱えています。それは潰瘍のある胃です。そうじゃないですか？ さて、あなたはイエスがあなたを癒してくれると信じていますか？ 見てほしい。手を離して、手を離してください。さて、見てください、今、私の手は正常に戻ります。さて、これをもう一方の手に取り、それを着てください。そうじゃないですか。あなたはこの手にいるのと同じくらい人間ですよ？ ほら、手を置いた。少し気になりませんか？ さて、この手をここに戻します。見てください。さて、わかりますか？ さて、祈っている間、私の手を見てほしいです。そして今、あなたは私があなたに真実を語ったと信じています、そして神はあなたを元気にして、手に何が起こるかを見るでしょう。頭を下げましょうか。

天のお父様、ここに立っているこのかわいそうな女性は苦しんでいます、私はあなたに彼女に憐れみ深いことをお願いします。彼女が所有し、彼女を乗っ取ろうとしているこの悪魔の力で彼女が苦しんでいるのを見てください、しかしあなたは彼女を解放するためにここにいます。そして、私は彼女の癒しを求めます。彼女から出てきなさい、サタン。イエス・キリストの名において、その女性を去りなさい。

さて、お姉さん、目を開ける前など、手から離れてしまいましたね。私の手は再び正常に戻りました。正しければ「はい」と言ってください。大丈夫です。今、あなたは頭を上げることができます、聴衆。何かが起こったのではないですか？ さて、少し前に私の手が腫れて真っ赤になりました。そうですか？ 今見てください。手を離します。さて、この手をここに置いてください。ほら、何も起こりません。これを今着てください。何も起こりません。何かが起こったのではないですか？ あなたの胃のトラブルはなくなりました。食べに行きなさい、そうです。神はあなたを祝福します。

35 神が何かを言われたかどうかに関係なく、あなたは信仰を持たなければなりません。人と話す場合は、その人の何が悪いのかを必ず見つけてください。あなたが人々と話すならば、それはまさにその通りです。しかし、事は、あなたはたった3つか4つしか通らないのです、そしてあなたはとても弱くてそれをほとんど耐えられないのです。たとえば、これは...ただ敬虔になりなさい。ミーティング中は動き回らないでください

(しないでください)。ほら、あなたは邪魔をして、本当に敬虔になりなさい。

さて、ここを見てください。私が神の僕であると信じますか？ あなたはこれを信じています...さて、ちょっとお話ししたいと思います。さて、あなたはどのようにまっすぐに見ているだけです、そして私はどこか別の場所を見送ります、そうすれば彼らはそれが精神的なテレパシーだと思わないでしょう。しかし、私はあなたにこのように私を見て、心から信じてほしいのです。

彼らが写真に写っている主の天使の写真を見たことがありますか？ 主がいれば、数日中にそれらのいくつかをお届けします。テキサス州ヒューストンで写真を撮る場所であなただけがそれを持っているのを見たことがあるでしょう。あなたは今何かが起こっていることに気づいていますね？ その何か...あなたは奇妙な、ある種の優しさの感覚、または愛や何か別のもののように感じます。それは今あなたにあります。それがそれです。それが何であるか。ここであなたに油を注いでいるのは彼です。そうです。あなたも胃のトラブルと糖尿病の状態があります。そして、私はあなたに何か他のことを言います。腎臓は半分しかありません。そうですか？ しかし、あなたは癒されています。あなたの信仰があなたを元気にしました、先生。家に帰って、元気になってください。アーメン。神はあなたを祝福します、先生。

36 さて、聴衆に何かお聞きしたいのですが。私たちはお互いに見知らぬ人です。私たちは人生でお互いに会ったことはありませんが、あなたがそこに来たとき...私があなたと話し始めたとき、本当に甘い気持ちがあなただけにやってくるように、突然。そうですか？ それから一斉に、安堵が来ます。それはすべて終わりました。それはあなたが癒された時です。あなたの信仰がそれをしました、兄弟、私ではなく、兄弟。キリストへのあなたの信仰がそれをしました。神はあなたを祝福します、大丈夫です。

37 来てください。さて、それは弱点の部分です。それが痛いです。

どうしたの、姉妹、泣いてそこに座っているの？ 関節炎になりましたね、そこに座っていると小さな白い帽子があります。信じますか？ あなたも湿疹が発生しました。あなたは神があなただけを元気にしてくれると信じていますか？ 大丈夫、あなたの足で立ち、あなたの癒しを受けてください。今、あなたの関節炎はあなたから消え、あなたの信仰はあなたを癒しました。あなたはそれを持っている必要はありません。さて、それが私たちにできることです。ただ敬虔になって祈ってください。

大丈夫です。あなたは心から信じていますか、レディ？ 信じますか？ あなたは神があなただけを助けるために私をここに送ったと信じていますか？ あなたは一つのことで心臓の問題を抱えています、そしてあなたは本当に緊張しています。あなたが夜起きようとしているのが見えます。あなたは眠ることができず、ただベッドの周りを転がり、眠れません。そうじゃないですか？ その通りです。今すぐ家に帰りなさい。あなたは今夜寝るつもりです。イエス・キリストはあなたを元気にします。信仰を持ちなさい。心から信じてください。

もし私がただ神にあなただけを祝福して癒してくれるように頼んだら、神はそれをしてくれるでしょうか？ 主イエス様、私はあなたが姉妹を祝福し、彼女を手放し、イエスの御名によってあなたの栄光のために元気になるように祈ります。アーメン。神はあなたを祝福します。信じて、今行きなさい。

38 大丈夫です。さあ、レディ。心から信じますか？ あなたは私が彼にあなただけがそうするように頼むだけなら信じます... [ブラナム兄弟は脇で話します。]主イエス様、私はあなたが女性を祝福し、彼女を癒し、イエス・キリストの名によって彼女を元気にしてくれることを祈ります。アーメン。神はあなたを祝福します、姉妹、喜んで行きなさい。

大丈夫、来てください。心から信じますか？ 主よ、私はあなたが姉妹を癒してくださることを祈ります。そして彼女が今夜ここから喜び、幸せになり、イエスの御名によって元気になるように。アーメン。神はあなたを祝福します、姉妹。幸せになって、喜んで行きましょう。

胆嚢のトラブルが発生しましたね。あなたは神があなただけを元気にしてくれると信じていますか？ 神はあなたを祝福します。高血圧も。あなたが心から彼を信じるなら、あなたは元気になることができます。家に帰りなさい。神はあなたを祝福します。

胃に問題があります。しかし、それは今あなたからなくなっています。あなたは家に帰り、食事をし、元気になる、幸せになることができます。神はあなたを祝福します。

あなたは心から信じますか？ 主イエス様、私はあなたが私たちの姉妹を癒してくださるようお願いします、そして彼女が今夜ここからイエス・キリストの名によってうまく行けますように。アーメン。神はあなたを

祝福します、姉妹。幸せになって喜んでください。

39 さあ、姉妹。ああ、私の、今、聴衆の中にそのような信仰が築かれています。さて、ここで彼は動いている、聖霊です。さて、この女性に何か問題があります。同じように聴衆にも何か問題があります。そこに座っているのはその男です。目がおかしいのです、先生。また、左肩が成長しました。表示されていませんが、その通りです。そうじゃないですか？ 立ち上がってください。あなたの左肩が成長し、神があなたを癒してください。そして、この女性は腫瘍を持っていました、彼は彼女を癒したので、あなたは行くことも元気になることもできます。主イエス・キリストの名において、これが彼を去り、二度と来ないように。アーメン。

40 大丈夫、あなたは来ますか、姉妹？ 皆さん、今、信仰を持ってください。来て、来て、姉妹。信じますか？ 主イエス様、私はあなたがその女性を癒し、イエス・キリストの名であるアーメンの栄光のために彼女を完全に完全にすることを祈ります。神はあなたを祝福します、姉妹。

それがなくても歩けると思いませんか？ あなたはイエス・キリストを信じています…まあ、それをあなたの肩に乗せて、プラットホームを横切って歩いてください。あなたはそれを必要としません。このように手に取って、プラットホームを横切って、「主よ、ありがとう、主よ、ありがとう」と言ってください。

姉妹、心から信じますか？ イエスの御名によって行って、完全にされなさい。

41 分かりますか？ あなたはちょっとしたスタートを切る必要があります。それがあなたがしなければならないすべてです。信仰を一度動かしてください。残りは神がなさるのです。あなたがそれを信じるならば、あなたのグループ全体が今、同じことをすることができます。

信じますか？ イエス・キリストの名において、あなたが癒され、完全にされるように。アーメン。神はあなたを祝福します、兄弟。喜んで行きなさい。

私たちが神に尋ねるなら、神があなたを癒してくれると信じますか？ ここには物事を知っている何かがあります。そうじゃないですか？ あなたはそれが主イエスだと信じていますか？ 父よ、私はあなたが彼女を祝福し、イエス・キリストの御名によって彼女を癒してくださいを祈ります。アーメン。行って、今喜んでください。幸せであること。大丈夫です。

42 神を信じなさい。心を尽くして、魂を尽くして信じますか？ アーメン。彼はあなたにとって本物ですよ。ね？ 足に関節炎ができました。ええと。それはあなたの右足にありますね？ それはあなたの右足にあります。あなたは手術の準備ができていますね？ まあ、それは....とにかく、あなたは腫瘍を持っています。子宮内の腫瘍。そうですか？ 医者がそう言ったので、神があなたを癒さない限り、あなたは手術を受けなければなりません。そうじゃないですか？ はい、奥様。あなたはあなたの名前を綴ります...それをマキ、M-a-k-iと発音しますか？ ええと。ヘルマはあなたの最初です...ヘルママキさん？ そして、あなたは850パークアベニューに住んでいます。あなたは家に帰ります。あなたは主イエスの御名によって良くなるでしょう。

心から信じますか？ イエス・キリストがここにいると信じているのを見て、今すぐ癒されて元気になりたいと思っている人は何人いますか？ 大丈夫です。ちょっと、ちょっと立ち上がってください。私はあなたがどれほど不自由であるか、あなたがどれほど盲目であるかを気にしません、ほんの少しだけあなたの足で立ち上がってください。さて、このどこでも、お互いに手を置いてください。さあ、ちょっと頭を下げてください。

親切な天の父よ、あなたの霊は今夜この小さな聴衆の上を動き、あなたの存在がここにあることを知ってここを一掃し、建物内のすべての病気の人を癒すことができます。主よ、現時点でそれを認めてください。

ここにいるあなたは、あなたが主イエス・キリストであることを証明します。私はすべての病気、すべての悪魔の力が壊されることを非難します。明日の夜、この場所は神の栄光への証で溢れるでしょう。主イエス様、これを認めてください。

そして、サタン、人々から出てきます。イエス・キリストの名において、私はあなたに彼ら全員を去るように命じます。

さあ、手を挙げて、癒しを神に感謝してください。不自由な人を起こさせましょう。目の不自由な人が建物を見回してみしましょう。足の不自由な人を歩き、喜び、幸せにさせましょう。あなたはイエス・キリストの御名によってあなた方一人一人を癒されました。神に栄光あれ。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7